

< Bグループ >

背景・要因等

か か わ り 方

- ・嫌がることでしかかかわることができない。
- ・順位付け（マウンティング）をしたい。そういう人間関係しか経験がない。友だちを下に見ている。
- ・叱られることが多く、褒められたことがない。
- ・仲良くしたいが、どうすればよいか方法が分からない。
- ・人とのかかわりが乏しく、相手を思う必要性が分からない。

満たされない気持ち

- ・満たされない思いやいら立ちを抱えている。
- ・楽しいこと、夢中になれること、没頭できないことがない。
- ・自分が不安定だから、友だちを挑発する。
- ・自信がないから強がってしまい、悪い行動をしてしまう。
- ・もっと自分だけを見てほしい。

相手の反応を楽しんでいる

- ・叱られることで、先生に注目してもらえる。
- ・相手や教師の反応を期待して楽しんでいる。
- ・脅かしも本児には遊び。他の遊びを知らない。

障がい特性

- ・持ち物へのこだわり。他の児童のものが気になって仕方がない。
- ・見られるとドキドキする。本児も過敏がある。

支援策

ソーシャルスキルトレーニング

- ・より適切なかかわり方が分かるような学習をする。
- ・自分の気持ちを自覚したり、言葉で表現したりできるように。
- ・その都度その場面でのかかわり方を教える。

称賛

- ・頑張ったことやできたことをたくさん褒められる経験。
- ・「あなたのいいところを見ているよ」というメッセージを込めた称賛。
- ・自分も相手もいいところや頑張ったことを認める。
- ・得意なことをより極め、もっと褒められるようにする。

気持ちを育てる

- ・「丁寧にやること」「友だちと一緒に」など「一番」ばかりではないという認識を育てる。
- ・興奮する前に自分で気持ちを落ち着ける手段を見つける。

指導 方法

- ・強い口調の指導には反発もある。大人側も感情的に叱らない。
- ・不安定になる前に察知して、言葉かけ。深呼吸を促すなど。

分かりやすい支援

- ・イラストや図解で、客観的に状況や相手の気持ちを理解できるようにする。
- ・順番を決めておく、内容を分かりやすく提示する、活動の場を仕切るなど、事前に対応しておく。
- ・ルールを掲示しておく。
- ・表情絵カードなどを活用。

協力経験・役割

- ・学級全員で取り組める楽しい遊びの提案
- ・協力し合える環境づくりと、称賛を受ける経験の積み重ね
- ・得意なPCを活用して、友だちに教える、プレゼントを作るなど。
- ・お手伝いや当番など人に認められる経験。得意なことでも活躍できる場。

先生との時間

- ・話をじっくり聞いてもらう。